

学校だより 西山から

令和5年10月発行①No10

学校の今をお知らせします

名古屋市立西山小学校

電話(052)-701-5181

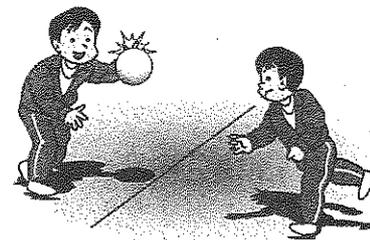
<https://www.nagoya-c.ed.jp/school/nishiyama-e/>

10月2日からの個人懇談会では、お忙しい中お越しくございまして、懇談内容を今後の教育活動に生かし、子どもたちにとって充実した学校生活となるように努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

冬季の服装について

朝晩だけでなく、日中も冷え込む日が増えてくる時季になってきました。

西山小学校では、登下校や体育の授業時の、防寒のための服装等について、以下のように指導していきますのでお知らせいたします。



登下校時

- マフラー、ネックウォーマー等の防寒具は、原則、登下校時のみとし、体育の授業や休み時間等では着用しません。耳当ては安全上着用しません。
- 手袋は、手を使わない運動（持久走・サッカーなど）や遊びのときのみ、着用してもよいです。
- カイロは持ってきません。（健康上の理由等で必要な場合は、保護者の方から、担任に相談してください。）

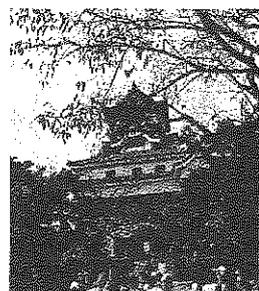
体育の授業時

- 体操服の上に、ジャージ上下1枚ずつを着てもよいこととします。
 - ・ フード付きの物やベンチコート等、運動に適さないものは避けてください。
 - ・ 登校時に着てくる衣服とは別の物を、体育の授業用として用意してください。
 - ・ 体育の授業が始まるまでは、登校時に着てくる上着を着ていてもよいこととします。
- 体操服の下に下着を着る場合、汗をかいたら取り替えられるように、替えの下着を持ってきます。
 - ・ レギンス、スパッツ、タイツ等、途中で着脱が困難なものは避けてください。

西山小の子どもたち



【9月14日(木)、15(金) 4年生 校外学習:犬山】



社会科の学習で、犬山市へ出掛けました。犬山城・からくりミュージアム・城とまちミュージアム・どんでん館を見学しました。犬山の文化を学び、充実した見学になりました。



第5回 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～新たな学びへのチャレンジ～

令和4年度後半から、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」という言葉が聞かれるようになりました。

ここでいう「個別最適」とは、すべての子どもたち一人一人に応じた適切な学びを行うことで、これまでも行ってきた、子どもたちに寄り添い、その子の特性や得意不得意に応じた重点的な指導＝これを「指導の個別化」と言いますが、これを進めること。さらに、一人一人の子どもに興味関心に応じた学習活動や学習課題を主体的に学ぶ＝「学習の個性化」という、この2つを進めることとされています。

また、これまでも取り組んできたように、多様な人々と交わり、関わることを通して、自分の考えを深め、新たな学びや気付きに出会う＝「協働的な学び」を大切に、これらの二つが両輪となり、主体的に学び続けることが、未来を生きる子どもたちにとって、必要不可欠な能力となるとされています。

名古屋市でも、令和6年度より「ナゴヤ学びのコンパス」という新たな教育の方針が示されました。この「ナゴヤ学びのコンパス」では、「子ども中心の学び」を幼児期から「青年期」まで一貫していくことを大切にしています。そして、「ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける」子どもを目指し、「自分に合ったペースや方法で学ぶ」「多様な人と学び合う」「夢中で探究する」姿を大切に授業づくりを目指しています。

そして、本校でも今年度より、学校教育努力点を「生き生きと学び、学び合う児童の育成ー個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実ー」と、テーマを刷新しました。

本校では、「学びたいことを見付けとことん学ぶ」「知識や技能を身に付け、活用する」「人とつながり新たな気付きに出会う」「じっくり考え、話し合い自分の考えを深める」授業づくりを目指しています。第1回で申し上げたように、子どもたちが自分で課題を見付け、自分で課題を選択し、自分の学びを計画する授業や、さらに深い課題追究をできるような工夫など、これまでの一斉授業の形だけではない、自らコントロール(調整・自律)する学びも少しずつ、取り入れ、新たな授業づくりを目指しています。

子どもたちが生きる未来には、さらに高速ネットワークが整備され、AIがますます発展し、知識やスキルを身に付けるだけでは生きていけません。社会が変わり、未来が変わる。そこに生きる子どもたちの姿も、学びも大きく変わっているのです。今が、その大きなターニングポイント、パラダイムシフトなのです。

わたしたち、西山小学校も、時勢を見極め、未来を生きる子どもたちに必要な学ぶ力を育てていきます。これからも、保護者・地域の皆様とともに、手を取り合い、一緒にがんばっていききたいと思えます。

【校長 竹中 剛志】